

調査 2. 精度管理指標数値の調査

「調査内容」

検診機関に対して、精度管理指標（要精検率・精検受診率・がん発見率・陽性反応適中度）を調査しました。

「調査の方法」

宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会が対象検診機関に対し調査し、以下に沿って、各指標値を算出し、宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会が評価をしました。

「評価基準」

評価基準は前述した厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました[※]。精度管理指標のうち、最も重要な指標と位置付けられている精検受診率が 70%未満の検診機関には改善をお願いすることとしました。

- ・ 厚生労働省委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（平成20年3月）」
『別添4 がん検診の事業評価における主要指標について』の定義に基づき算出しました。

指標	算出方法	許容値	目標値	対象年齢
要精検率	要精検者数 / 受診者数 × 100 (%)	1.4%以下	—	20-74歳
精検受診率	精検受診者数 / 要精検者数 × 100 (%) 精検受診者数 = 要精検者数 - 精検未把握者数 - 精検未受診者数	70%以上	90%以上	
がん発見率	がんであった者の数 / 検診受診者数 × 100 (%)	0.05%以上	—	
陽性反応適中度	がんであった者の数 / 要精検者数 × 100 (%)	4.0%以上	—	

※子宮頸がんの要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の基準値について

○子宮頸がん検診の要精検率は近年増加傾向にあり、国の許容値を満たしていない都道府県が増えています。要精検率増加の一因として、国の補助事業である無料クーポン券導入（2009年）の影響が考えられます。無料クーポン券の配布対象は原則はじめて受診する人で、この事業の開始後に若年の受診者が増えていることが分かっています。このことから、近年罹患率の高い集団が多く受診するようになり、その結果、要精検率が増加傾向にあることが考えられます。ただし、要精検率増加の原因はまだ明確に特定されておらず、今後の検討課題です。今後検討結果をふまえて国の許容値の見直しが行われる予定です。

○「地域保健・健康増進事業報告」の様式が改訂され、平成25年度までの報告では「上皮内がん」として「がんであった者」に計上されていたものが、平成26年度以降の報告では「CIN3」として計上されるようになりました。そのため、以前と比較してがん発見率と陽性反応適中度が減少しています。このような背景をふまえて、今後国の許容値の見直しが行われる見込みです。

「結果」

●集団検診

精検受診率 70%以下：社会医療法人善仁会宮崎善仁会病院 総合健診センター

検診機関名	受診者数 A	細胞診の判定別人数					要精検者数 B	要精検率 B/A (%)	精検受診者数 C	精検受診率 C/B (%)	精密検査結果 (がんのみ)		がん発見率 D/A (%)	発見がんに対する割合 進行度 I A の割合 E/D (%)	陽性反応適中度 D/B (%)
		精検不要	要精検 (A S C I U S)	要精検 (1)	要精検 (2)	判定不能					(子宮頸がんであった者 転移性を含まない)	子宮頸がんのうち 進行度 I A のがん			
健康づくり協会	10,574	10,351	106	109	8	0	223	2.1	194	87.0	5	3	0.05	60.0	2.24
日本健康倶楽部	2,106	2,063	18	25	0	0	43	2.0	42	97.7	1	0	0.05	0.0	2.33
高野病院	85	85	0	0	0	0	0	0.0	0	－	0	0	0.00	－	－
日赤熊本健康管理センター	633	631	1	1	0	0	2	0.3	2	100.0	0	0	0.00	－	0.00
多良木病院	1,462	1,450	7	5	0	0	12	0.8	11	91.7	0	0	0.00	－	0.00
宮崎善仁会	241	－	－	－	－	－	11	4.6	3	27.3	0	0	0.00	－	0.00
計	15,101	14,580	132	140	8	0	291	1.9	252	86.6	6	3	0.04	50.0	2.06

※ 検診機関名は略称を記載しています。

「精検受診率許容値未達成の理由とその改善に向けた取り組みについて」

精検受診率 70 % 以下の検診機関には改善を促すための通知をし、その理由と改善方法を報告していただきました。

・社会医療法人善仁会宮崎善仁会病院 総合健診センター

理 由	ご受診者様に精検の必要性および重要性を丁寧にお伝えしていますが、コロナ禍により業務量が増大し、その後のアプローチに時間を割けない心苦しい状況が続いているため。
改 善 方 法	ご受診後にも、定期的なアプローチにより、精検ご受診状況の確認や勧奨ができるよう、体制構築を再検討していく。

「今後の対応」

- ・ 精度管理指標（要精検率・精検受診率・がん発見率・陽性反応適中度）を調査していますが、「受診者数」「精検未把握率」を追加調査する予定です。（都道府県用の事業評価のチェックリストに対応するため）